

競技注意事項

1. 競技規則について

本大会は、2023 年度(公財)日本陸上競技連盟競技規則、競技会における広告および展示物に関する規定、本大会申合せ事項により実施する。

2. 練習について

- (1)練習は別表の練習場所および時間に従って行うこと。
- (2)投てき練習は種目ごとに指定された場所で競技役員の指示に従って行う。

3. 招集について

- (1)招集所は、本競技場第1ゲート外側(Aゲート側スロープ下)付近に設ける。
- (2)招集開始および完了時刻は競技時刻を基準とし下記の通りとする。

種目	予選		準決勝		決勝	
	開始	終了	開始	終了	開始	終了
トラック	30分前	20分前	30分前	20分前	30分前	20分前
フィールド					60分前	50分前
フィールド(棒高跳)					70分前	60分前
混成競技(トラック)					30分前	20分前

⑨混成競技については、第1日および第2日の最初の競技種目について上記時刻で招集を行う。

以降は混成競技者控室で競技役員の指示に従うこと。

- (3)招集完了時刻5分前には招集所で待機し、出場者本人が最終チェックを受ける。その際、登録ナンバー、スパイク、衣類、持ち物等の点検を受ける。その後指示に従い競技場内へ入ること。棒高跳に限り各自で入場し、招集完了時刻に競技場所で最終チェックを受ける。
- (4)招集完了時刻に遅れたものは、棄権とみなし処理をする。
- (5)2種目以上同時刻に兼ねて出場する場合は、招集開始時刻までに「2種目同時出場届」を競技者係に提出すること。
- (6)リレーのオーダー用紙は、ラウンドごとに招集完了時刻の1時間前までに所定の用紙に記入し、競技者係に2部提出すること。
⑩提出に必要な用紙については競技者係に用意する。
- (7)トラック競技において腰ナンバー標識を着用するので、腰ナンバー標識を招集の際に受け取る。競技終了後、フィニッシュ地点で係員に返却する。
- (8)携帯電話、CD等、競技規則第144条3(b)に関わる機器は、競技場内に持ち込めない。
- (9)競技者の入退場は係員の指示に従う。
- (10)学連登録時の氏名と番号がプログラム上のそれと異なり、主催者側に過失が認められない場合は、競技に出場できないことがある。

4. 棄権について

- (1)棄権については、大会の権威と運営の円滑化のため極力避けること。
- (2)やむを得ず棄権する場合は、棄権届（大会受付及び招集所に用意）に監督がサインをし、招集開始時刻までに競技者係に提出すること。
- (3)無断で棄権した場合、その競技者は以降の出場を認めない。

5. 競技について

- (1)トラック種目予選の走路順、フィールド種目の試技順はプログラム記載の通りとする。
- (2)トラック種目準決勝・決勝の組合せ・レーン順については主催者が公平に抽選し決定する。トラック競技のプラス出場者において同タイムが出た場合、以下の方法で選出する。
 - ①800m以下およびリレー競技での同タイムの競技者は、レーンに余裕があれば次のラウンドに進出できる。レーンに余裕の無い場合は判定写真を拡大し着差判定を行う。それでも着差がつかない場合は該当競技者または代理人によって抽選をする。
 - ②1500mについては、同タイムの競技者は全て次のラウンドに進出できる。
- (3)登録ナンバーは本年度登録番号のものを使用し、胸および背中に確実につけること。ただし、跳躍競技に関しては、胸または背中のいずれか1枚つけるだけでも良い。
- (4)トラック競技出場者は腰ナンバーを使用する。腰ナンバーは招集の際に受け取ること。
- (5)予選において棄権者が多く9名以下になった場合、予選を取りやめ決勝の時刻に決勝レースを行う。
- (6)男女5000m、男子10000m、3000mSCはタイムレースで行う。
- (7)競技運営上、10000mWは男子60分、女子70分を越えて次の周回に入れられない場合がある。
- (8)5000m、10000m、10000mWでは必要に応じてバックストレートに給水所を設ける。
- (9)競技者が使用するマーカー(4×100mR、跳躍競技、投てき競技)は主催者が用意したものを、それ以外のもは使用できない。4×100mR、投てき競技ではマークを1か所に置くことができる。跳躍競技、やり投では助走路外側にマークを2か所まで置くことができる。
- (10)女子三段跳の踏切板は砂場から9m、男子三段跳の踏切板は砂場から12mの位置に設置する。
- (11)競技運営上、男子やり投では45m、男子円盤投では25mの計測ラインを下回った試技は無効試技となる。
- (12)リレーチームの編成メンバーは、どのラウンドにおいても本大会に申し込んでいる競技者であれば出場することができる。ただし、どのラウンドにおいても、出場するメンバーのうち少なくとも2名はリレーに申し込んだ競技者出なければならない。最初のラウンドに出場したメンバーのうち2名以内に限り、その後のラウンドで他の競技者と交代することができる。
- (13)リレー競技に出場する場合、各チーム同一のユニフォームで参加しなければならない。
- (14)練習用としても検定を受けていない個人の用器具を競技場内に持ち込んではいならない。
- (15)スパイクのピンは9mm以下、やり投・走高跳については12mm以下のものを使用すること。
- (16)抗議は規則第146条に基づき、結果の発表後30分以内に、次のラウンドが行われる場合は15分以内に本人または監督から総務員を通じて審判長に対し口頭で申し入れる。
- (17)競技者に対する助力について、規則第144条で認められない行為があった場合審判長が警告を行う。さらに助力が繰り返される場合当該競技者に対し失格を勧告する。

6. 走高跳、棒高跳について

(1)走高跳、棒高跳のバーの上げ方は以下の表の通りとする。

男子走高跳	練習 1m70	1m75	1m80	1m85	1m90	1m95	以降 1 人残るまで 3cm 刻み
女子走高跳	練習 1m30	1m35	1m40	1m45	1m50	1m55	以降 1 人残るまで 3cm 刻み
男子棒高跳	練習 3m20	3m40	3m60	3m80	4m00	4m20	以降 1 人残るまで 10cm 刻み
女子棒高跳	練習 2m00	2m20	2m40	2m60	2m80		以降 1 人残るまで 10cm 刻み

(2)混成競技における走高跳、棒高跳のバーの上げ方は以下の表の通りとする。

男子走高跳	練習 1m45	1 回目の高さを 1m50 とし、以降 1 人残るまで 3cm 刻み					
女子走高跳	練習 1m25	1 回目の高さを 1m30 とし、以降 1 人残るまで 3cm 刻み					
男子棒高跳	練習 2m40	1 回目の高さを 2m60 とし、以降 1 人残るまで 20cm 刻み					

⑨ただし、天候等の事情や参加選手の要望により、審判長の判断で変更する場合がある。

(3)棒高跳の支柱移動については競技開始前に跳躍上で競技役員に申し出ること。

(4)第 1 位が同成績の場合、順位決定のためのバーの上げ下げは、走高跳で 2cm、棒高跳で 5cm とする。

7. 表彰・成績について

(1)各種目 3 位までに入賞した者に対し、表彰式で賞状とメダルを授与する。競技後直ちに正面玄関ロビーに集合すること。受賞者は原則各校の競技用ユニフォームを着用とする。また 8 位までの入賞者には賞状を授与する。賞状は正面玄関ロビーの表彰者待機場所付近に用意する。

(2)各種目得点は 1 位 8 点、2 位 7 点以下 6 点、5 点、4 点、3 点、2 点、1 点とする。同順位が複数(n)生じた場合は順位点の合計を n で除した得点とする。

(3)学校対抗得点で男女とも総合 1 位の学校に優勝杯を、3 位までの学校に賞状を授与する。また、トラック、フィールド部門で男女とも得点 3 位までの学校に賞状を授与する。

(4)男子最優秀選手またはリレーチームに菅沼賞を、女子最優秀選手またはリレーチームに川村賞を授与する。

(5)本競技会は、ワールドランキングに対応した競技会である。

8. その他

(1)主催者は競技者の負傷・疾病については応急措置以外の責は負わない。それ以上の対応については各校で行い、参加者は健康保険証を持参すること。

(2)メインスタンドでの部旗・横断幕・のぼりの掲示は禁止とし、サイドスタンドやバックスタンドに掲示すること。ガムテープを使っての掲示やロープ類を使っての場所取りも禁止とする。メインスタンドおよびスタンド裏においては通行の妨げにならないよう場所取りには配慮をすること。

(3)テント設営は、補助競技場、サイドスタンドに設営し、それ以外の場所には設営しないこと。

(4)競技場内へは出場する選手および補助員以外は立ち入らないこと。

(5)招集所以降競技エリアには、ビデオ・携帯電話等の電子通信機器、電子音声機器を持ち込むことは禁止されている。

(6)競技場内で着用あるいは持ち込む衣類・バックなどは「競技会における広告および展示物に関する規程」に従い、ロゴ等は所定の大きさまでのものしか認められない。

(7)競技場内および補助競技場等公園内の美化には注意し、ゴミは各校持ち帰ること。

(8)更衣室はメインスタンド下にある。荷物・貴重品等は各自の責任で管理し盗難には注意すること。

放置などによる盗難・紛失などがあつた場合主催者側は関与できないので注意すること。

(9)競技結果・番組編成については競技場正面の記録表示場所に掲示する。

(10)競技場開場および閉場時刻

第1日 5月19日(金) 開場：7:00 閉場：19:00

第2日 5月20日(土) 開場：7:00 閉場：19:00

第3日 5月21日(日) 開場：7:00 閉場：12:00

練習会場・時間

	5月18日(木)	5月19日(金)	5月20日(土)	5月21日(日)
本競技場	12:00~18:00 トラック競技 跳躍競技 投擲競技	7:00~8:30 トラック競技 跳躍競技	7:00~8:30 トラック競技 跳躍競技	7:00~8:30 トラック競技 跳躍競技
補助競技場	8:30~21:00 個人利用 (使用料必要)	7:00~18:30 トラック競技 跳躍競技 砲丸投げ	7:00~18:00 トラック競技 跳躍競技 砲丸投げ	7:00~10:30 トラック競技 跳躍競技 砲丸投げ
室内練習場	12:00~18:00 投擲競技以外	7:00~18:30 投擲競技以外	7:00~18:00 投擲競技以外	7:00~10:30 投擲競技以外

注意事項

- ・各練習会場では安全のため逆走、チューブ・牽引ロープ等の用具を使った練習は禁止とする。
- ・練習の際には安全面に注意し、競技役員の指示に従うこと。
- ・投擲競技は砲丸投げ以外、全場所使用禁止とする。